

北陸スポーツ・体育学会

2024 年度学会大会 抄録集

会期：2024 年 12 月 14 日（土）

会場：富山大学五福キャンパス 教育学部 3 棟（B3）3 階 331 教室



大会プログラム

2024 年度 北陸スポーツ・体育学会大会

日時：2024 年 12 月 14 日（土）

会場：富山大学五福キャンパス 教育学部 3 棟（B3）3 階 331 教室、333 教室（ポスターのみ）

〒930-8555 富山市五福 3190 番地

（スケジュール）

10：30～10：35 開会式

10：35～11：35 一般研究発表（口頭発表） 【発表 8 分・質疑 4 分】

11：40～12：20 一般研究発表（ポスター発表） 【発表 3 分・自由討論 28 分】

12：20～12：30 優秀研究奨励賞の投票

13：30～16：05 公開セミナー（共催：富山県教育委員会）

16：05～16：15 学会賞授与式及び閉会式

【午前の部】

10：30～10：35 開会式

10：35～11：35 口頭発表 座長：北田耕司（石川工業高等専門学校）

10：35～10：47 〔演題 1〕 芝口翼（金沢大学）ほか

過去の運動経験が再トレーニング時の骨格筋運動応答性を増強する
メカニズムの探索

10：47～10：59 〔演題 2〕 北浦孝（金沢大学）ほか

ドーピング規制薬物に関する現代の問題点と対策に関する AI 解析

10：59～11：11 〔演題 3〕 武 可（福井工業大学大学院）ほか

75 歳以上の女性高齢者における生活空間および体力・運動能力の中日
比較

11：11～11：23 〔演題 4〕 澤田亮平（富山大学）ほか

富山大学運動あそび教室「キッズムーバーズアカデミー」の企画と実践

11：23～11：35 〔演題 5〕 金子泰子（富山国際大学）ほか

豊かなスポーツライフを営むための資質や能力を育む方策について～
各年代の児童期における運動・スポーツ実態調査の比較から～

11：40～12：20 ポスター発表 座長：青木宏樹（福井工業高等専門学校）

11：40～11：43 〔演題 6〕 岡室憲明（金沢星稜大学）

サッカー競技者の試合期における体力の変動

11：43～11：46 〔演題 7〕 熊谷史佳（金沢美術工芸大学）ほか

課題に用いる道具の自主制作が運動の学習と課題へのコミットメントに及ぼす影響

11：46～11：49 〔演題 8〕 杉浦宏季（福井工業大学）ほか

女性高齢者における支持基底面積を基準とした有効支持基底面積の割合と体力・運動能力の関係

11：49～11：52 〔演題 9〕 宮口貴義（金沢大学大学院）ほか

片足立位姿勢制御課題における注意焦点が重心動揺と脳活動に及ぼす影響—一固視点の高さに着目して—

11：52～12：20 自由討論

12：20～12：30 優秀研究奨励賞の投票

【午後の部】

13：30～16：05 公開セミナー

テーマ：みんなで楽しむ健康・運動プログラム

プログラム 1：親子で学ぶ運動あそび教室（参観）

プログラム 2：講演会

演題：子どものからだと心が求める新時代の「学校」と「体育」

講師：野井真吾（日本体育大学体育学部・教授）

司会：岩田英樹（金沢大学）

16：05～16：15 学会賞授与式及び閉会式

○優秀研究奨励賞

題目：「片脚立位姿勢制御課題における注意焦点が重心動揺と脳活動に及ぼす影響—一固視点の高さに着目して—」

受賞者：宮口貴義、Nguyen Minh Thi、村山孝之、小島治幸（金沢大学）

北陸スポーツ・体育学会 × 富山県教育委員会 共同開催企画 市民公開シンポジウム
--

みんなで楽しむ健康・運動プログラム

プログラム1：親子で学ぶ運動あそび教室

実践指導者：澤 聡美（富山大学）

実践者：キッズムーバーズアカデミー

プログラム2：講演会

演 題：子どもの体と心が求める新時代の「学校」と「体育」

講 師：野井 真吾（日本体育大学体育学部・教授）

司 会：岩田 英樹（金沢大学）KCFP+2024・WG 座長

＜企画趣旨＞

昨年度の北陸スポーツ・体育学会では、「アフターコロナで見直そうこどもの“こころ”と“からだ”の健康」をテーマとし、北陸の地に根付いた堅実な実践や研究等について、三人の先生方にご報告いただき、大変好評であった。今年度の学術大会においても、昨年度のテーマを継承しつつ、地元で展開されている優れた実践や研究に焦点を当て、広く社会に周知すると共に、その再評価を通して、今一度、現状における課題の確認と今後の活動への勢いを得るための企画を準備した。
--

まず、北陸の地で優れた実践と研究を蓄積されてきた、富山大学の澤聡美先生にお願いし、近年取り組まれている「キッズムーバーズアカデミー（親子で行う運動あそびプログラム）」を学術大会中に開催していただき、本学会会員をはじめ、広く一般市民に向けて、その実践の様子を直接参観させていただく機会を準備した。この活動のユニークなところは、運動あそびプログラムの企画運営を学生メンバー（ムーバーズ）が中心となって展開しているところである。既に出来上がったプログラムを実施（再現）するのではなく、毎回毎回、参加者の親子や会場などの状況に応じて学生メンバー（ムーバーズ）が創意工夫してプログラムを準備しているところが注目される。是非とも、その様子を直に参観していただき、子供の健康や運動などについて考えるきっかけとしていただきたい。

また、澤先生主催の上記プログラムの参観後には、野井真吾先生（日本体育大学）によるご講演を企画した。野井先生は、子どもの心や体の研究や実践における我が国の第一人者と言っても過言ではなく、全国各地で精力的にご活躍されている。野井先生からコロナ後の子どもたちの現状・課題等についてや、今まさに取り組まれている研究等についてお話しいただくと共に、「キッズムーバーズアカデミー（親子で行う運動あそびプログラム）」に対してもご講評を頂きたいと考えている。
--

なお、本企画を進める中で、富山県教育委員会から「共催」という形で様々なご協力・ご支援を頂くこととなった。それもあって、本企画はライブ配信により、当日会場に来られない方々にも、その様子をお届けできるようになった。このようなことは、澤先生と富山県教育委員会とがこれまでも連携して様々な取組を進めてこられたことによるところが大きい。本学会としても、富山県教育委員会との共催でこのような企画を開催できることをとても喜ばしいことと捉えており、今後とも末永く、良い関係性が続いていければと考えている。

以上、本学会としてもここ数年でもっと大掛かりな企画であり、是非とも多くの参加者にご来場いただき、大いに議論していただければ幸いである。
--